

# 文字列分解

## フィールドの文字列を区切り文字で分割して縦に出力する

### ◇機能

《文字列分解》は、フィールドの文字列を区切り文字で分割して縦に出力する機能です。

伝票番号	購入商品
10001	AAA,BBB,CCC,DDD
10002	EEE,FFF



伝票番号	分解 商品名
10001	AAA
10001	BBB
10001	CCC
10001	DDD
10002	EEE
10002	FFF

購入商品を区切り文字“,”で分解

### ◇メニュー

《加工》-《文字列分解》

### ◇設定内容

文字列分解

テーブル名  1

区切り文字  2

文字列分解フィールド 3

フィールド名	データ型
売上番号	C
担当者	C

その他出力フィールド 4

フィールド名	データ型
<input type="checkbox"/> 計上日	D
<input type="checkbox"/> 売上番号	C
<input type="checkbox"/> 担当者	C

IF 条件  7

IF 条件  8

保存先  9

11
 10

1. テーブル名 : 操作の対象となっているテーブルが表示されます。
2. 区切り文字 (必須) : 分解の基準となる区切り文字を指定します。
3. 文字列分解フィールド (必須) : 文字列を分解するフィールドを指定します。(複数選択不可)
4. その他出力フィールド : 文字列分解フィールドで選択したフィールドの他に、結果に表示したいフィールドがある場合は、フィールドの一覧からクリックで選択します。
5. フィールドの全選択/全解除 : チェックボックスのオン/オフで、すべてのフィールドの選択/解除が行えます。
6. 《フィールド選択》ボタン : 「フィールドの選択」画面を開き、フィールドの選択・並び順の変更を行うことができます。
7. 《式ビルダー》アイコン : 「IF条件」の条件式を入力するために、式ビルダーを開いて使用できます。
8. IF条件 (任意) : 抽出条件を設定する場合は、「IF条件」に条件式を入力します。
9. 保存先 : 実行結果の出力先となる新規テーブル名を入力します。  
《保存先》ボタンで、保存するフォルダを変更できます。ただし、使用可能なフォルダは、プロジェクトが保存されているフォルダの「04\_table」フォルダおよびそのサブフォルダのみです
10. 《実行》ボタン : 実行します。
11. 《キャンセル》ボタン : 実行せず画面を閉じます。

#### ◇操作ログ

**TEXTSPLIT ON** [文字列分解フィールド] **“区切り文字”** **OTHER** [その他出力フィールド1] [その他出力フィールド2] …またはALLFIELDS IF 条件式 **TO テーブル保存場所 OPEN**

※「IF条件」を設定した場合は、IF条件式が記述されます。